海外留学報告書

（様式４）

交換留学及び語学留学に参加する皆さんは、帰国後に海外留学報告書を提出することになっています。つきましては、下記の様式を使用して、帰国後１ヶ月以内に提出してください。福山大学海外留学奨学金の授与に関しても、同報告書を提出することが必須条件です（奨学金の授与の詳細・日程については、帰国後に改めて連絡します）。

※ 提出先：学務部国際交流課　int@fukuyama-u.ac.jp

※ 後輩学生のために、留学生活の様子が分かる写真・動画を出来るだけ多くご提供ください。

※ 提出した報告書の内容及び写真・動画は、ホームページ・学報・大学案内などの広報媒体に掲載されることがあります。掲載を希望しない場合は、本様式の欄外にその旨を記載する方法で申し出てください。

※

氏名	小坂優奈	留学先大学	カリフォルニア州立大学 サンマルコス校
学部・学科	工学部 建築学科	留学の種類	(語学)・交換・その他（　　）
学生番号	5626018	留学期間	2026年8月30日～ 2026年9月20日
1．留学前			
留学の 動機・目標	英語でのコミュニケーション力を身につけ、海外の文化や生活を実際に体験してみたいと思い、留学を決めました。大学では建築について学んでいるため、以前から海外の建築や街並みを実際に見てみたいと思っていました。将来は様々な国を訪れ、現地の建築や文化を自分の目で見て学びたいと考えています。そのため、現地の人と交流し、英語を使って自分の気持ちや考えを伝えられるようになることを目標にしました。さらに、実際に海外に行くことで、新たな考え方や価値観を知り、自分の視野を広げることも今回の留学の目的のひとつでした。		
2．留学中			
授業内容	授業では、日常会話や発音、リスニング、ライティング、コミュニケーションについて学びました。ペアやグループで会話をする機会も多く、実際に英語を話す練習をすることが出来ました。また、現地の大学生と話をする機会や、インタビューをする機会もあり、ネイティブスピーカーと実際の英語を使って交流することもできました。さらに、日本語を勉強している語学学校にも行き、日本語と英語の両方を使って交流しました。お互いの言語を教え合いながら会話をすることができて、とても楽しかったです。		
ホームステイ や寮での生活	ホストマザーと一緒に生活をし、放課後にはカードゲームをしたり、映画を一緒に見たりしました。休日には、一緒にご飯を食べに行ったり、買い物をしたりしました。また、さまざまな場所に連れて行ってもらい、日本とは違う文化を実際に体験することが出来ました。ホストマザーと過ごす時間はとても楽しく、実際のアメリカの生活を身近に感じることが出来ました。		

週末の過ごし方	アウトレットに買い物へ行ったり、ご飯を食べに行ったりしました。また、サンディエゴやロサンゼルスなど、さまざまな場所にも行きました。ロサンゼルスではドジャースの試合観戦し、アメリカのスポーツ文化を実際に体験することが出来ました。その他にも、観光地を訪れたり、買い物を楽しんだりしました。普段なかなかできない経験をたくさんすることができ、アメリカの街並みや文化の違いを、自分の目で見ることができました。
経費（渡航費、月額生活費、受給奨学金額、旅行費等）	・渡航費用　約40万 ・プログラム費用　約60万 ・保険費用　約1万 ・受給奨学金　5万
留学中の記憶に残るエピソード	特に記憶に残っているのは、ホストマザーの家でタコスパーティーをしたことです。2回開催され、他のホストファミリーや友達も集まって、みんなで一緒にタコスを食べました。 私はそれまでタコスを食べたことがなかったのですが、実際に食べてみるととてもおいしく、初めての体験を楽しむことが出来ました。料理をしたり、食事をしながら話をしたりして、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。
3．留学後	
留学目標の達成度 どのような点で成長したと感じるか	留学前は、英語を話すことに自信がなく、間違えることを恥ずかしく感じていました。しかし、実際に生活してみると、英語が完璧でなくても、自分から話そうとし相手に理解してもらおうとする気持ちが大切であるとわかりました。現地の大学生と話したり、ホストファミリーと毎日会話をする中で、少しずつ英語で話すことになれることが出来ました。
今後の目標（短期留学の場合、中長期交換留学への参加希望があれば記載）	今回の留学をきっかけに、さらに英語を話せるようになりたいと思いました。これからは、日常会話をスムーズにできるように英語の勉強を続けていきたいです。また、将来はさまざまな国を訪れ、その国の街並みや文化を自分の目で見たいです。
来年度以降の参加者へのメッセージ	最初は英語がうまく話せなくても、笑顔で話したり、知っている単語を使ったりして、積極的にコミュニケーションをとることが大切だと思います。 また、ホストファミリーや現地の人と積極的に交流することで、より楽しい留学生活になると思います。

＊文字数に上限はありません。枠をはみ出してしまう場合には、枠を適宜広げてお書き下さい。
（Word版：国際交流課ホームページからダウンロード可）

＊報告書に記載された情報は、海外語学留学・交換留学プログラムの運営、その他、海外留学や語学留学の運営に利用します。

海外留学報告書

（様式４）

交換留学及び語学留学に参加する皆さんは、帰国後に海外留学報告書を提出することになっています。つきましては、下記の様式を使用して、帰国後１ヶ月以内に提出してください。福山大学海外留学奨学金の授与に関しても、同報告書を提出することが必須条件です（奨学金の授与の詳細・日程については、帰国後に改めて連絡します）。

※ 提出先：学務部国際交流課　int@fukuyama-u.ac.jp

※ 後輩学生のために、留学生活の様子が分かる写真・動画を出来るだけ多くご提供ください。

※ 提出した報告書の内容及び写真・動画は、ホームページ・学報・大学案内などの広報媒体に掲載されることがあります。掲載を希望しない場合は、本様式の欄外にその旨を記載する方法で申し出てください。

※

氏名	田島怜弥	留学先大学	カルフォルニア州立大学サンマルコス校
学部・学科	生命工学部　海洋生物	留学の種類	語学留学
学生番号	6326083	留学期間	2026年　8月　30日～　2026年　9月　20日
1．留学前			
留学の動機・目標	アメリカで景観や文化を楽しみながら、英語を学んでみたかったから。 現地の人と話せるようになりたい。		
2．留学中			
授業内容	すべて英語で説明され、留学生同士で最近の出来事や参加したイベントなどをお互いに話し合う授業や文法や熟語などを学んで分を作るような授業が多かった。		
ホームステイや寮での生活	ホストマザーが朝と昼の用意をしてくれる。夜はホストファザーが色々だ料理を作ってくれた。休日は釣りをしたりバスケをしたり、プールに行ったり海を見に行ったりと様々な場所に行った。		
週末の過ごし方	ホストファミリーと屋内プールに行ったり、プログラムでディズニーランドやアドベンチャーに行ったり、ユニバーサルスタジオハリウッドに行ったりした。地元のチェーンのタコスのお店や、ピザ、バーガーなどを食べたり、ホストファミリーの親族の家でディナーを食べた。		

経費 （渡航費、 月額生活費、 受給奨学金額、 旅行費等）	渡航費 32 万程度 月額生活費約 4 週間で 5~6 万円 受給奨学金額 26 万円 旅行費 25 万円程度
留学中の 記憶に残る エピソード	現地の学生と友人関係になり、日本語を教えたり英語を教えられたりしたこと。ホストファミリーの子供達と基本な会話を通してコミュニケーションができるようになったこと。
3. 留学後	
留学目標の 達成度 どのような点で成長したと感じるか	リスニングが上達したのと会話での正しいい答え方、リアクション、ショークなどが少し判別できるようになった。 自分に自信がついた、伝えたい事を伝える力がついた。
今後の目標 （短期留学の場合、中長期交換留学への参加希望があれば記載）	よりスムーズな会話とスラングの学習。 ジョークを覚えていくこと。 ヨーロッパやアメリカの東海岸にも行きたい。
来年度以降の 参加者への メッセージ	自分はプログラムに参加してアメリカには様々な人種の人々が生活していて、発音も文法も異なる人が多いと感じた。だから発音とか文法に苦手意識があっても、その発音が自分のアイデンティティだとポジティブでに考えて挑戦することが大切。

＊文字数に上限はありません。枠をはみ出してしまう場合には、枠を適宜広げてお書き下さい。
（Word 版：国際交流課ホームページからダウンロード可）

＊報告書に記載された情報は、海外語学留学・交換留学プログラムの運営、その他、海外留学や語学留学の運営に利用します。

海外留学報告書

（様式４）

交換留学及び語学留学に参加する皆さんは、帰国後に海外留学報告書を提出することになっています。つきましては、下記の様式を使用して、帰国後１ヶ月以内に提出してください。福山大学海外留学奨学金の授与に関しても、同報告書を提出することが必須条件です（奨学金の授与の詳細・日程については、帰国後に改めて連絡します）。

※　提出先：学務部国際交流課　int@fukuyama-u.ac.jp

※　後輩学生のために、留学生活の様子が分かる写真・動画を出来るだけ多くご提供ください。

※　提出した報告書の内容及び写真・動画は、ホームページ・学報・大学案内などの広報媒体に掲載されることがあります。掲載を希望しない場合は、本様式の欄外にその旨を記載する方法で申し出てください。

※

氏名	田正司元介	留学先大学	カリフォルニア州立大学サンマルコス校
学部・学科	生命工学部海洋生物科学科	留学の種類	(語学)・交換・その他（　　）
学生番号	6326084	留学期間	2026年 8月30日～2026年 9月20日

1．留学前

留学の動機・目標	・アメリカに行ってみたかった ・本場でバス釣りをしてみたかった

2．留学中

授業内容	現地のアンバサダーや学生との交流を通じて、英語のリスニングとスピーキングを中心に学習した。アンバサダーとの会話では実際の英語を聞きながら自分の考えを英語で伝える練習を行った。また、現地学生へのインタビューも行い、質問をしたり、相手の回答を聞いたりすることで実践的な英語コミュニケーションを学んだ。
ホームステイや寮での生活	ホームステイでは、ホストファミリーと一緒に生活し、アメリカの家庭での日常生活を体感した。ホストマザーは毎日学校まで送り迎えしてくれ、基本的に毎日ランチボックスを用意してくれた。ホストファザーは料理上手で、寿司やハンバーガーなどを作ってくれた。子どもたちとは一緒に遊ぶ時間も多く、楽しく交流することができた。
週末の過ごし方	週末は、ホストファミリーの友人が家に集まってパーティーをしたりして過ごした。パーティーではホストマザーやホストファザーの友人とも一緒に遊び、普段とは違った交流をすることができた。また、同じ留学プログラムに参加している学生同士で集まって遊ぶこともあり、留学中の出来事について話したり、互いの交流を深めた。週末を通して現地の人や留学メンバーと楽しく過ごすことができた。

経費 （渡航費、 月額生活費、 受給奨学金額、 旅行費等）	渡航費：33万円程度 生活費：5〜6万円 受給奨学金：26万円 旅行費：25万程度
留学中の 記憶に残る エピソード	・人生初のスポーツ観戦（ドジャースも観戦したと．試合では日本人選手が出場することはなかったけど、会場全体が応援や観声で盛り上がっており観客みんなで試合を盛り上げようとしている雰囲気がとても楽しかった． ・たまにパトカーがカーチェイスしているのか交差点でドリフトしながら通って行ったりしてて面白かった．
3．留学後	
留学目標の 達成度 どのような点 で成長したと 感じるか	留学前に目標としていた本場のバス釣りに行くことは達成できたが、残念ながらバスを釣ることができず、少し不完全燃焼な結果となった．しかし、留学を通してリスニング、スピーキング力を伸ばすことができた．これまでは英語が一番苦手な教科で英語を話すこと、聞くことに苦手意識があったが、現地で実際に英語を使って生活することで少しずつ英語に対しての苦手意識がなくなり、留学前と比べて英語を身近に感じられるようになった．
今後の目標 （短期留学の 場合、中長期 交換留学への 参加希望があ れば記載）	来年も本機会があれば再びアメリカに行きたいと思っている． 次にアメリカに行く時は、今回よりも積極的に英語を使い、現地の様々な人と話してみたい， また、いろいろな人と交流することで英語力だけでなく、異なる文化や考え方についても学びたい．
来年度以降の 参加者への メッセージ	3週間という短い期間でしたが、実際に生活してみると日本食が恋しくなることがあったのでインスタント食品やお菓子など、好きな日本食を少し持っていくことをおすすめします．また現地の人たちはとても優しく、話しかけると楽しく会話してくれました．最初は話すのに緊張すると思いますが、積極的に話しかけてみるとより楽しく充実した留学生活を送ることができると思います．

＊文字数に上限はありません。枠をはみ出してしまう場合には、枠を適宜広げてお書き下さい。
（Word版：国際交流課ホームページからダウンロード可）

＊報告書に記載された情報は、海外語学留学・交換留学プログラムの運営、その他、海外留学や語学留学の運営に利用します。